



「目標」は「努力」を！
「努力」は「進歩」を！
「進歩」は「成長」を！

部長 松本安博

新学期が始まったと思っていましたら、あっという間に青葉若葉のみどり美しい五月を迎えました。

みどりは初等部の制服の色、ランドセルの色です。みどりは学園全体のスクールカラーでもあります。

私は、入学式でも可愛い新入生に、そのみどりについて話をしました。「み」はみんなと仲良きの「み」。新しいお友だちに新しい先生。みんなと仲良くするためには、『ありがとうございます。』の言葉や『ごめんなさい。』の言葉を大切にしましょうね。」と話しました。そして、「ど」は努力の「ど」。「好きなことや得意なことは、どんどん好きに得意になりましょう。しかし、勉強のように『きらいだ苦手だ。』でそのままにしておけないものがあります。きらいや苦手なことにも、コツコツ努力ができるといいですね。」と伝えました。最後の「り」は利口の「り」。「利口な人は、勉強して学んだことや人から教わったことを生活に活かす人です。安全にも心がける人ですよ。」と登下校の安全への注意も促しました。

まだまだ慣れていないことがたくさんある一年生ですが、朝の校庭のあちらこちらから明るくて元気な声が聞こえ、たいへんうれしく思います。

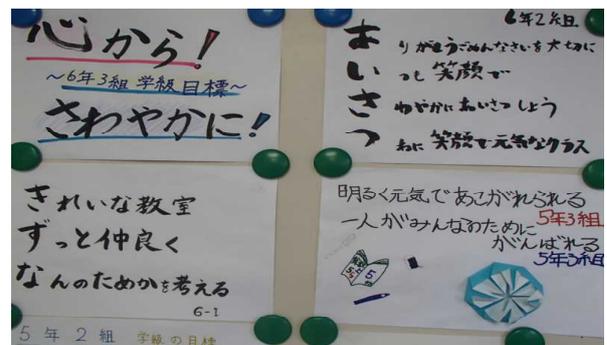


【朝の初等部グラウンドの風景】

さて、連休前のことになりますが、私が玄関で下校の子どもたちを見送り、職員室に戻ろうとした時のことでした。私は、玄関脇の壁面に今まで見たことのない掲示物があるのに気付きました。聞くところによりますと、四年生以上の学級委員で構成される学級委員会の呼びかけで、全学級の学級目標を掲示することになったとのことでした。また、今日も美化委員会の子どもたちが、清掃活動について放送をしていました。私は、子どもたち自身がこうした自主自発的で創造的な活動に取り組んでいることを知り、とてもうれしく思います。なぜなら、私は、こうした活動の中に課題を見出す力やよりよいものを求める力、話し合う力、説明する力、まとめる力、協働する力など、21世紀未来型の学力（資質・能力）の素地を感じるからです。

人は、日々の勉強からもたくさんのことを学び、成長します。加えて、人とのかかわりの中でも多くのことを学び、成長します。子どもたちは、子どもたちとのかかわりの中でこそ共感的な「生き方」を学び、「生きる力」を身に付け、成長すると言っても決して過言ではないと思います。

今年度も六年生を先頭に、子どもたちの自主自発的で創造的な活動を引き出していきたいと考えています。



【学級委員会による学級目標の掲示】